

## 大阪府立中河内救命救急センターESCO事業提案審査の講評

本ESCO事業は、築18年の中規模施設である府立中河内救命救急センターを対象にして提案公募されたものであります。

2グループより提案をいただき、各グループともに、その技術力をいかに発揮された結果、公募条件を大きく上回る省エネルギー効果の高いご提案でありました。

特に、アズビル株式会社、三菱UFJリース株式会社のご提案は、既存の空冷ヒートポンプチラーを高効率な最新機器に更新するとともに、既存のガス主体の熱源運転から新たに更新する電気式熱源主体の運転に切替えることで省エネ化を図り、また、コージェネレーション導入によるデマンド抑制やEMS制御の導入、約650本のLED照明化等の様々な省エネ技術導入により、19.3%と高い省エネ率を実現するものであり、補助金獲得可能性も高く、大阪府にとって非常に有益な内容で総合的な観点からも優れた提案でありました。

また、東芝エレベータ株式会社およびIBJL東芝リース株式会社のご提案は、LED化必須改修本数の5倍となる約830本のLED照明器具への更新を実現するものであり、またベースライト照明を含む既設照明を器具ごと更新とすることでLED化を図り、省エネ性能だけでなく器具の信頼性を高め、施設運営にも配慮されたものでありましたが、前者には及びませんでした。

事前に公表している審査要領及び募集要項に基づき審査を行い、その結果、総合評点の最も高いアズビル株式会社、三菱UFJリース株式会社のご提案を最優秀提案とし、東芝エレベータ株式会社、IBJL東芝リース株式会社のご提案を優秀提案といたしました。

最後に、多大なるご労力をおかけし、貴重なご提案をいただいた応募者に、あらためてお礼申し上げます。

平成 27 年 8 月 31 日

大阪府ESCO提案審査会ESCO事業者選定部会  
部会長 相良 和伸